

# 池上エリアリノベーションプロジェクト (東急株式会社と大田区との公民連携によるまちづくり) 事業概要

令和元年12月17日(火)

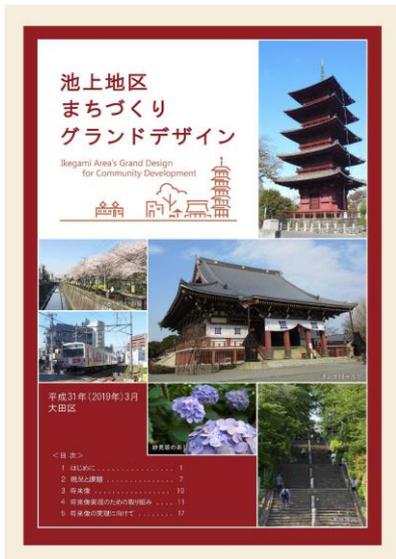
第12回東京都空き家対策連絡協議会 説明資料

# 「池上地区まちづくりグランドデザイン」の策定

- ・ まちの魅力向上や機能向上につながる検討を目的として、地域住民が主体となり「池上地区まちづくり協議会」発足（平成27年～）
- 検討結果を「池上地区まちづくりガイドライン」に取りまとめ、大田区へ提案



- ・ 区各計画との整合を図り、まちづくりの指針として「池上地区まちづくりグランドデザイン」を策定（平成31年3月）



**「池上地区まちづくりグランドデザイン」記載の  
将来像実現のための取り組み（抜粋）**

- 歴史・文化・自然との共生に向けた取り組み
- にぎわいの創出に向けた取り組み
  - 観光資源を活かした回遊性向上、リノベーション事業の推進によるまちの活性化
- 安全で快適な暮らしの確保に向けた取り組み
- 協働で進めるまちづくりに向けた取り組み
  - 地域住民、事業者、行政等が協働するまちづくり

# 東急株式会社と大田区との公民連携

## 【平成29年度】



- ・「リノベーションスクール@東急池上線」開催
- ・池上駅の駅舎改良、駅ビル開発計画始動
- ・池上線沿線「『生活名所』プロジェクト」始動



後援、協議など



まちづくりにおける両者の課題認識共有、連携の機運向上  
→「大田区・東急電鉄（※当時）公民連携まちづくり研究会」発足

## 【平成30年度】

- ・公民連携まちづくり研究会 最終報告（8月）→両者で連携の必要性を確認
- ・公民連携によるまちづくりの推進に関する基本協定を締結
- 同時に、池上駅周辺エリアにおけるまちづくり推進について覚書を締結

## 東急株式会社との協定に基づき推進する連携事業(抜粋)

- 地域のまちづくり機運醸成
- 地域の情報発信、プロモーション
- 空き家、空き店舗オーナー掘り起こし
- 地域の自立的なまちづくり担い手の育成
- リーディングプロジェクト事業化支援
- コミュニティ形成・組織化

以上の取り組みを  
「エリアリノベーション」の手法を活用  
することで推進する。  
まちづくり機運の高まりをみせている  
池上駅周辺から開始



池上  
IKEGAMI  
AREA  
RENOVATION

# 本連携事業の基本方針

令和2年（2021年）3月

1年目（令和元年度）

- ・拠点開設
- ・情報発信

- ・機運醸成
- ・関係者集め、  
情報収集

2年目（令和2年度）

- ・事業化支援

- ・案件具体化

3年目（令和3年度）

- ・事業化支援拡大

- ・案件具体化

池上駅ビル  
図書館開業

# 連携事例（１）地域の情報発信、プロモーション

## 情報発信拠点「SANDO BY WEMON PROJECTS」



- 地域資源を収集し、本プロジェクトに関わる様々な活動の拠点となるスペース
- カフェ常連客との何気ない会話の中で、地域の人・情報などを収集、取材を通して地域資源を掘り起こす
- 新しい事業承継のあり方実践（開設前に立地していたパン屋の物語を継承）

各種情報発信

情報発信拠点での各種イベント実施

紙媒体での発信（フリーペーパー、まちあるきマップなど）

web媒体での発信（池上エリアリノベーションHP、情報発信拠点発のwebサイト）



フリーペーパー「HOT SANDO」



池上エリアリノベーションHP

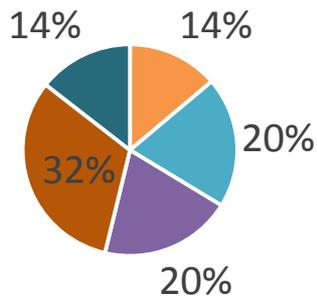


情報発信拠点から発信するweb情報「NEW SANDO」

- まちづくり機運醸成に向けたシンポジウムの開催  
 区立池上会館にて6月4日に開催  
 新しいまちづくりの考え方提案と意見交換  
 定員200名の募集に対し、来場400名を記録

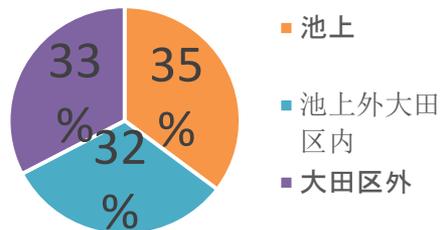


年齢



■ ~20代   ■ ~30代   ■ ~40代  
■ ~50代   ■ 60代~

在住エリア



■ 池上  
■ 池上外大田区内  
■ 大田区外

### 感想（抜粋）

池上のまちづくりに参加したい。
まちづくりの主体が誰か、考えさせられた。
外部の人が気付く魅力があると思った。
普段の生活の延長にまちづくりがある。

## 連携事例（２）空き家、空き店舗オーナー掘り起こし

- ・ 物件の継続的な掘り起こし
- ・ 興味を持った人を対象にまち歩きツアー  
(対象はテナント、担い手中心)
- ・ マッチング企画の実施  
担い手募集のため、対象物件の内覧会を実施  
エントリー者からオーナーに利活用プランをプレゼン



# 本連携における今後の見通し

